

ファイザー社製ワクチンの不足による 1回目接種予約のキャンセル・新規予約受付の一時停止 （2回目接種については予定通り実施）

神戸市内で実施する新型コロナウイルス感染症予防のためのワクチン接種のうち、ファイザー社製ワクチンについては、6月以降、本市の希望量に対して、国からの供給量が半分以下となっており、予約数に応じた接種を円滑に実施することが極めて困難な状況となっています。また、7月下旬に配分されるワクチンについても、希望量を大幅に下回ることが判明いたしました。

このため、2回目接種に必要なワクチンの確保を最優先に、1回目接種の予約のキャンセルなどの緊急的な対応をとることといたしました。

市民の皆様には多大なご迷惑をおかけしまして、申し訳ございません。

今後、国からのワクチン供給の目処が立ち次第、予約受付を再開しますので、市民の皆様は今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

1. 1回目接種の新規予約受付の一時停止

全ての接種場所（個別接種医療機関、施設接種、巡回接種、配慮が必要な方のための接種会場、集団及び大規模接種会場）において、1回目接種の新規予約の受付を一時的に停止します。

2. 集団接種会場・大規模接種会場の1回目接種予約のキャンセル

ファイザー社製ワクチンを使用する集団接種会場・大規模接種会場において、7月6日（火曜）以降の1回目接種予約を全てキャンセルさせていただきます。

なお、キャンセル対象となった方について、次のとおり予約の振替を行うことにより、接種を受けていただくことといたします。

- ① 65歳以上の方については、モデルナ社製ワクチンを使用する会場への予約の振替を受け付けます。予約の振替は、7月8日以降、各区役所等に配置したお助け隊及びコールセンター（予約振替専用番号）にて受け付けます。

※専用番号については対象者にダイレクトメールなどでお知らせします。

- ② 60歳以上65歳未満の方などすでに予約を完了されている方については、予約振替の方法について調整の上、後日、広報紙及びホームページ等でお知らせいたします。

3. 7月5日以降の一般予約受付の一時停止

7月5日以降の予約受付を予定していた下記の方々について、当面の間、受付開始を延期いたします。状況を見て、改めてスケジュールを公表します。

また、7月21日に発送を予定していました12～15歳の方の接種券の発送も延期し、状況を見て発送時期の検討を行います。

- ・7月5日（月曜）：50～59歳、
小学校などの教職員、学童保育の指導員など優先接種対象の方
- ・7月8日（木曜）：40～49歳
- ・7月12日（月曜）：30～39歳
- ・7月15日（木曜）：16～29歳

4. 個別接種医療機関・施設接種の1回目接種予約のキャンセル

個別接種医療機関・施設接種についても、7月12日（月曜）以降の1回目接種の予約についてはキャンセルさせていただきます。

なお、個別接種医療機関のキャンセル対象者のうち、65歳以上の方については、

- ① モデルナ社製ワクチンを使用する集団接種会場の予約を受け付けるほか、
- ② 個別接種医療機関においてファイザー社製ワクチンの供給があり、予約受付可能となった際に、改めて予約の受付を再開いたします。

5. 2回目接種の確保

以上の対応を行うことにより、これまでに 1回目の接種を終えられている方につきましては、2回目接種のワクチンを確保いたします。

神戸市では、7月1日までに、65歳以上の高齢者約43万人のうち、約35万人（約8割）の方が1回目接種を受けており、7月中下旬ごろには高齢者に対するワクチン接種を概ね終えることができると考えています。

[参考1] 振替予約を受け付ける集団接種会場（モデルナ社製ワクチンを使用する会場）

地区	会場	開設日
東灘区	神戸ファッションプラザ9階	土・日・祝
中央区	IHDセンタービル9階会議室（WHO神戸センター隣）	毎日
中央区	神戸学院大学ポートアイランド第2キャンパス	毎日
兵庫区	ノエビアスタジアム神戸（7月15日～）	木・金・土 （8/5～毎日）
須磨区	須磨パティオ健康館 ※7/15以降は毎日開設します。	土・日・祝 （7/15～毎日）
西区	キャンパススクエア本館2階（リパティホール）	毎日

〔参考2〕ファイザー社製ワクチンの本市希望量及び供給量の推移

	希望量	供給量
第8クール（6/21～7/4）	362,700 回分	166,140 回分
第9クール（7/5～7/18）	315,900 回分	140,400 回分
第10クール（7/19～8/1）	819,000 回分	約 160,000 回分（見込み）

〔参考3〕国に対する追加供給の要望

本市ではワクチン供給の不足について、6月29日付で内閣府特命担当大臣・内閣府副大臣に対して要望しました。（別紙）

なお、現時点において、国から追加供給の回答はありません。

<要望内容>

- ① ファイザー社製ワクチンについて、本市の希望量通りの追加供給をすること。
- ② モデルナ社製ワクチンについて、今後の供給見通しを早急に具体化すること。

新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望

神戸市では、迅速でスムーズなワクチン接種が行えるよう、市内の医療関係者が一丸となって個別接種会場（約 800 会場の診療所・病院）、集団接種会場（18 会場）及び大規模接種会場を開設するとともに、5 月 31 日には産学官連携により 2 番目の大規模接種会場を開設した結果、6 月 22 日時点で 1 日平均約 17,650 人が接種できる体制を整備しました。

更には、7 月に集団接種会場を 7 会場新設することで、同月中旬には高齢者接種を終了し、政府の骨太方針を踏まえて市民への接種を完了できるよう鋭意取り組んでまいりました。

しかしながら、6 月 23 日に、モデルナ社製ワクチン（以下「モデルナ」）を使用する自治体の大規模接種は一旦新規の受付を休止する旨の方針が政府から示され、それを受けて、本市もモデルナを使用する集団接種会場の新設を見送らざるを得なくなりました。更に、ファイザー社製ワクチン（以下「ファイザー」）についても、第 8～第 9 クールの供給量が本市希望量の 5 割未満に止まるなど、本市のワクチン保有量は、現在、深刻な事態に陥っています。

その結果、ファイザーを使用する全ての接種会場で 7 月中旬にワクチンが枯渇することが明白となり、モデルナを使用する会場についても接種を制限する状況にあります。

本市としても、ファイザーを使用する接種会場の予約枠の削減や、モデルナの供給に目処がたった接種会場への誘導など種々対策を講じてい

きますが、現状のまま推移すれば、すでに予約を済ませた市民でさえ接種を受けることが不可能となり、市民に多大な不安と混乱を招くことは必至です。

以上を鑑み、政府におかれてはワクチンの全量を確保し、適時適切に供給できるように万全を尽くすとともに、下記について早急に対応し、本市がワクチン接種を確実かつ迅速に実施できるよう要望します。

記

1 ファイザーについて、本市の希望量通り追加供給していただきたい。

○第8クール（6月21日～7月4日）168箱の追加供給が必要

供給量 142箱 — 供給希望量 310箱 = ▲168箱分が不足

○第9クール（7月5日～7月18日）150箱の追加供給が必要

供給量 120箱 — 供給希望量 270箱 = ▲150箱分が不足

2 モデルナについて、今後の供給見通しを早急に具体化していただきたい。

令和3年6月29日

内閣府特命担当大臣 河野 太郎 様

神戸市長 久元 喜造